

第 30 回 富山市都市交通協議会 議事録

- 【日 時】 令和元 10 月 2 日（水） 14：00～15：15
- 【場 所】 富山市役所議会棟 8 階 第 3 委員会室
- 【次 第】
- 1 開 会
 - 2 会長挨拶
 - 3 報 告
 - ・平成 30 年度における各事業の実施状況について
 - 4 議 事
 - ・地域公共交通網形成計画の達成状況の評価について
 - ・路面電車南北接続（第 2 期）LRT 整備計画の変更について
 - 5 その他
 - ・地域公共交通網形成計画の見直しについて
 - 5 閉 会

【出席者】 委員 13 名（敬称略）

所 属	職 名	氏 名	備 考
富山市	副市長	中村 健一	(会長)
福井大学大学院工学研究科	特命教授	川上 洋司	
富山商工会議所	専務理事	西岡 秀次	(代理出席) 常務理事・事務局長 富田 光國
西日本旅客鉄道株式会社 金沢支社	副支社長	大路 洋司	(代理出席) 交通企画室長 鹿野 剛史
富山地方鉄道株式会社	代表取締役社長	辻川 徹	
富山ライトレール株式会社	代表取締役社長	栗島 康夫	
あいの風とやま鉄道株式会社	代表取締役社長	日吉 敏幸	
株式会社富山市民プラザ	専務取締役	京田 憲明	
国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局	支局長	広瀬 道弘	
国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所	所 長	石井 宏幸	(代理出席) 事業対策官 会田 里士
富山県 観光・交通振興局 総合交通政策室	室 長	砂原 賢司	(代理出席) 主幹 藤田 実
富山県 土木部	次 長	江幡 光博	(代理出席) 都市計画課主幹 川上 孝裕
富山県警察本部 交通部 交通規制課	課 長	古川 秀治	

【議事録】

○会長挨拶（中村会長挨拶）

○報告 平成30年度における各事業の実施状況について

事務局（資料1説明）

（質疑応答） 【質疑なし】

○議事 地域公共交通網形成計画の達成状況の評価について

事務局（資料2説明）

（質疑応答）

広瀬委員（富山運輸支局）

利用状況の部分で、路面電車市内線と定期路線バスの1日平均乗車人数を単純に合計すると、平成29年度から平成30年度まで1日当たり80人くらい増えているが、ICカード利用割合が減っていることについて、何か推定している要因があれば教えてほしい。

事務局 ICカード利用割合の算出方法は、富山地方鉄道、富山ライトレール、まいどはやバス、フィーダーバスの利用者の総計からICカード利用者の割合を算出しており、路面電車と路線バス以外の数値も反映していることから、路面電車と路線バスの一日平均乗車人数の合計の伸びとは差異が生じているものと考えています。

辻川委員（富山地方鉄道株式会社）

平成30年度は、鉄道線のほうで通勤定期利用が若干減少しているが、全体としては増加しており、これは観光のお客様が増加していたということで、利用者層が異なっていることから、ICカードの利用割合は全体としてこのような数値になったのではないかと考えています。

中村会長 ICカードの利用割合ですが、今回の消費税率変更に伴い、富山地方鉄道さんは現金は値上げしましたが、ICカードの利用料金は据え置いたことで実質割引率が上がっており、これからそのことが利用者の方に浸透す

ると IC カードの利用率が上がるのではないかと考えています。

中村会長 議事「地域公共交通網形成計画の達成状況」については、他にご意見はないようですので、今後も公共交通活性化に係る取り組みをより一層推進していくこととし、おおむね適正なものであると評価してもよろしいか。

【異議なし】

中村会長 ご異議がないようですので、当協議会においては、議事「地域公共交通網形成計画の達成状況の評価」については適正なものであると評価されました。

○議事 路面電車南北接続（第2期）LRT 整備計画の変更について

中村会長 つづきまして、議事「路面電車南北接続（第2期）LRT 整備計画の変更」についてですが、その前に、昨日記者発表がございました資料3-1にあります「路面電車南北接続の開業日並びに開業後の運行形態や運賃等」について、南北接続後の路面電車の運行主体となります富山地方鉄道(株)の辻川社長より、概要等についてご報告をいただけたらと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

辻川委員 （資料3-1説明）

中村会長 ありがとうございます。つづきまして、議事に戻りまして、「路面電車南北接続（第2期）LRT 整備計画の変更」について事務局より説明をお願いします。

事務局 （資料3-2、3説明）

（質疑応答）【質疑なし】

中村会長 それでは、ご意見・ご質問がないようですので議事「路面電車南北接続（第2期）LRT 整備計画の変更」について、承認してよろしいでしょうか。

【異議なし】

中村会長 ご異議がないようですので、議事「路面電車南北接続（第2期）LRT整備計画の変更」については承認されました。

○その他 地域公共交通網形成計画の見直しについて

中村会長 最後に、事務局より「地域公共交通網形成計画の見直し」について説明をお願いします

事務局 （資料4説明）

（質疑応答）【質疑なし】

中村会長 現在の計画期間は、平成28年から令和2年ということで、ちょうど北陸新幹線開業と路面電車の南北接続という大きな節目が含まれる5年間でした。この地域公共交通網形成計画の中に入るかはわかりませんが、歩いて暮らすライフスタイルのための取り組みとして、アプリを活用した「とほ活」を今年度から始めることとしており、歩数に応じてポイントが付与されるというアプリは他にもありますが、公共交通に乗ることによってもポイントがもらえたり、まちなかのイベントに参加することでもポイントがもらえる仕組みとなっており、公共交通の利用も含めたライフスタイルを推進できるような施策を本市としても取り組んでいきたいと思っておりますし、地域公共交通網形成計画の見直しにおいても新たに検討していきたいと思っております。

中村会長 それでは、議事は以上となりますが、せっかくの機会ですので交通事業者の皆様から、今年度の取り組み状況や各自で行われている新たな取り組みなどございましたら、ぜひご意見等をいただきたいと思いますがいかがでしょうか。

大路委員（代理：鹿野交通企画室長、西日本旅客鉄道株式会社金沢支社）

北陸新幹線が開業5周年を2020年3月に迎えるということで、2019年10月から1年半かけて北陸新幹線開業5周年キャンペーンを実施させていただきます。地域の皆様と一緒に、北陸に多くのお客様にお越しいただくために、「日本は美しい、そう思える旅がある」をキャッチフレーズに、女優の仲間由紀恵さんを起用したポスターやCMを展開しております。高山線は、新幹線開業以降続いていた上昇傾向が途絶えた形になりますが、各駅の乗車人員は微増の傾向ですので、今回下がった

のは、昨年7月から10月まで豪雨の影響でJR東海の区間が運転できていなかった影響だと思っています。駅別の利用状況を見てみると、東八尾駅から南の駅の利用状況があまり良くなく、特に定期があまり良くない状況が見受けられ、沿線の少子高齢化のトレンド等をしっかり注視していきたいと思っています。

日吉委員（あいの風とやま鉄道株式会社）

当社全体の4月から8月までの全線の平均利用者数は対前年で1.6%増加ということで増加傾向になっています。その中で特に増加しているのは、昨年に引き続き富山駅で、増加の半分近くを占めている状況になっています。富山市内だけの状況では、呉羽駅、東富山駅は増加していますが、水橋駅は減少となっています。富山駅の利用者が増加しているのは、駅構内の南北自由通路が開通したり、周辺の施設が整備されてきているためであり、今後も増加傾向が続くと考えております。今後、市電が南北接続されればより増加するものと思います。そこで、辻川社長にお願いしたいのが、市電の通勤・通学時間帯の朝に、雨が降っていたりすると、富山駅構内に市電の行列ができてしまうので、工事が完了した段階で、上手く合理的に行列を整理する方法を検討していただければと思います。

辻川委員（富山地方鉄道株式会社）

当社が一番の課題は、路面電車の南北接続の準備をしっかりと進めていくということでして、富山ライトレールさんと乗務員の習熟運転を今年の3月から始めており、一人約3週間かかる上、一度にはできないので来年2月の合併までに30人くらい習熟運転を済ますために、富山ライトレールさんと協力して乗務員を交換しながら進めているところです。直通運転以後も更に両方運転できる乗務員を育てるために習熟運転を続けていきます。先ほど、昨年は鉄道で通勤定期が減ったというお話をしましたが、今年は通勤が若干調子が良く、全体として鉄道線・軌道線ともに4月から8月までの輸送人員は102%と順調に推移しております。鉄道線は、昨年に比べて観光のお客様が少し減少している状況です。一般乗合バスは、先ほどの資料にもありましたように平成30年度は平成29年度に比べての利用者数は若干減っておりましたが、これは主に下期で減らしており、平成29年度の冬は大雪であったのに対して平成30年度は雪があまり降らなかったことによる反動で減少したと考えております。平成30年度の4月～9月は前年度に比べて増加していたので

すが、今年度は若干減少しており、前年比99%という状況です。

粟島委員（富山ライトレール株式会社）

4月から8月までの利用者数は、1.3%増加しており、このまま順調に増えればと思っています。ここで要望を少しお伝えしますと、来年3月21日の路面電車南北接続に向けて、富山市のおでかけ定期券の利用促進キャンペーンを検討していただければと思っています。おでかけ定期券の取得率は、高齢者の方々の30%にも満たないのではないかとと思うのですが、当社沿線の方でも、特に高齢者の男性の方はおでかけをほとんどされないか、おでかけはマイカーに限るという主義なのか、ライトレール開業から10年以上経過したにも関わらず、乗ったことがないという方が、城川原駅までたまたま乗ろうとしてやってきて、どうやって乗ったらいいかわからない、運賃がいくらなのかわからないので教えてほしいと聞きに来られる方が未だにいらっしゃるから、路面電車南北接続に合わせて啓発することをご検討いただければと思います。

中村会長 先ほど日吉委員からお話がありました富山駅での市電の行列の件ですが、自由通路の幅も10月から少し広くなって、今後もどんどん広くなるということで、自由通路が広くなるといろいろなことができるようになってきますし、本市としても駅周辺整備を進めているところですので、富山駅を利用するお客様が利用しやすくなるよう、できる限りご協力していきたいと思います。それから、おでかけ定期券の話は、ちょうど3月が年度切り替えの更新の時期で、もともと市としても大々的にPRさせていただいているタイミングでもありますので、今のご提案もふまえてできるだけ多くの市民の皆様におでかけ定期券を知ってもらえるよう本市としても取り組んでいきたいと思っています。

川上委員（福井大学）

来年3月21日に路面電車が南北接続されるということで、移動の利便性が格段に上がるため大変期待ができると考えています。単純に現在利用している方だけではなく、新しい利用者をどれだけ確保できるかというところへ向けて、先ほどのお話のようにこれからPRをしていく必要があります。通勤で乗り換え抵抗が解消されるのは非常に大きいですし、特に、富山地方鉄道さんの定期券の価格が現行より下がることは大きなアピールポイントになってくると思います。また、現在各地でMaaS（モビリティ・アズ・ア・サービス）が検討されており、これだけ移動手段

の多様化がハード的に進んでくると、すべての移動手段を一体的に利用しやすくするための MaaS について、今後、富山市としても地域公共交通網形成計画のほうでも恐らく検討され記載されるのだろうと思います。技術的には段階的にいかなければならないと思いますが、それを念頭におきながら、今の段階でハードも含めて基本的な要件をきっちり整備しておくというのは、富山市だから真剣に考えておかなければならないことだと思います。IC カードもそれを念頭におきながらいろいろな形で、統合 IC について、全国 IC と地域 IC とを比べながらどういう形で進化させていくかを、フィンランドのようにはいかないかも知れませんが、日本のやり方としての MaaS は、利用者へのサービス向上という点でまだまだ取り組む余地があるように思います。その点でも富山市が全国の地方都市のモデルとして検討を進めていただければと期待しているところで

中村会長 地域公共交通網形成計画の令和 3 年度からの新しい計画に向けて本市としても公共交通のあり方について検討したいと思っており、前回の都市交通協議会でも話題になりましたが、県では県全域のバスの情報をスマホ等でわかるバスロケーションシステムを導入されますし、本市としましても先ほど申し上げた公共交通と歩くことを紐づけたアプリを今年 11 月から導入していきますので、そういったことを踏まえて、今後どう MaaS に進化させていくか私たちも考えていかなければならないと思っております。

砂原委員（代理：藤田主幹、富山県観光・交通振興局総合交通政策室）

今ほどご紹介していただいたとおり、県では富山市さんや富山地方鉄道さんにもご参加いただいた協議会を作り、県内統一した形のバスロケーションシステムの整備を進めてきておりまして、11 月には本格的に運用できるよう今月試験運用を考えております。これをもってバスの利便性を向上して利用促進を図り、先ほどからの路面電車の南北接続も含めて公共交通の活性化が期待されるところです。なお、バスロケーションシステムは、Web サイトを見に行く形でスマホやパソコン、ガラケーでも見ることができます。

広瀬委員（富山運輸支局）

基本方針告示の中では、地域公共交通網形成計画の期間は 5 年程度を原則とするとなっており、富山市はいろいろなことを鑑み 10 年となつて

おりますが、5年目の中間評価ということになりますので、時点的な変更ではなく、目標に向かって可能な限りの具体的な施策の検討をお願いしたいと思います。

中村会長 本市だけでなく、当然、各交通事業者さんといろいろご相談しながら検討していかなければならないと思いますので、よろしくお願いします。

(閉会)